

経営体育成基盤整備事業段関地区の環境との調和への配慮取り組み一経過報告

1 事業概要

経営体育成基盤整備事業段関地区

事業主体 徳島県

事業概要 関係面積 46ha

関係農家戸数 92 戸

農道整備 960m(3 路線)

排水路整備 3,270m(8 路線)

総事業費 552,000 千円

工期 平成 19 年度～24 年度

2 実施状況

平成 19 年度 • 事業採択(農林水産省補助事業)

• 地元関係者、大学・博物館の専門家、鳴門市、県関係各課による水路の配慮路線(ゾーニング)策定

配慮路線として②～⑤、⑥、⑧・⑨排水路を選定

平成 20 年度 • 「段関環境整備検討会」による整備方策の検討開始

• ⑤、⑧・⑨排水路を検討会により構造を決定

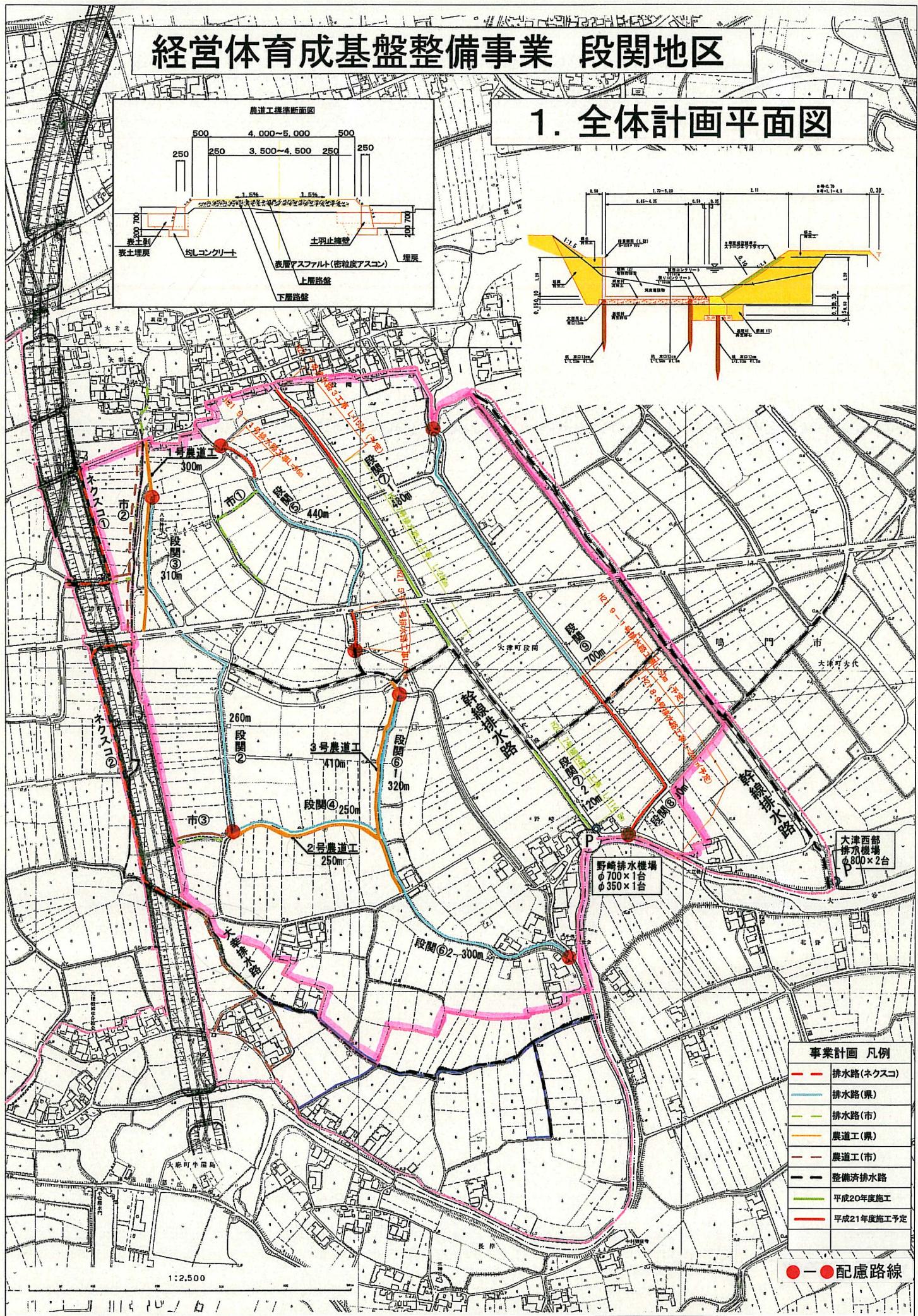
平成 21 年度 • ⑤、⑧・⑨排水路整備着手

3 今後の整備方針

- 今後は⑤、⑧・⑨排水路以外の配慮路線についても、環境整備検討会にて協議の上で構造等を決定していく。
- 配慮路線着手に当たり、効果を検証すべく、今年度から毎年、魚類の生息調査を行い、整備計画に資する。

経営体育成基盤整備事業 段関地区

1. 全体計画平面図



2. 環境配慮 実施状況

事業名	経営体育成基盤整備事業	地区名	段関	市町村	鳴門市
事務所名	東部農林水産局(徳島)	課名	整備担当	採択年度	H19

環境配慮の内容 : ②最小化④軽減/消失

- 希少魚類(カワバタモロコ等)の生息環境に配慮して片側を勾配のある(1:1.5)環境型ブロック護岸とし残り2面はL型柵渠とし底版中央部はコンクリートを打設しない排水路構造とした。
また、耕作者の理解が得られたレンコン田には魚道を設置予定。
- 希少植物(コギシギシ・オオアブノメ等は、生育土壤を工事後の盛土に使用したり、環境型ブロックの覆土を使用する予定。

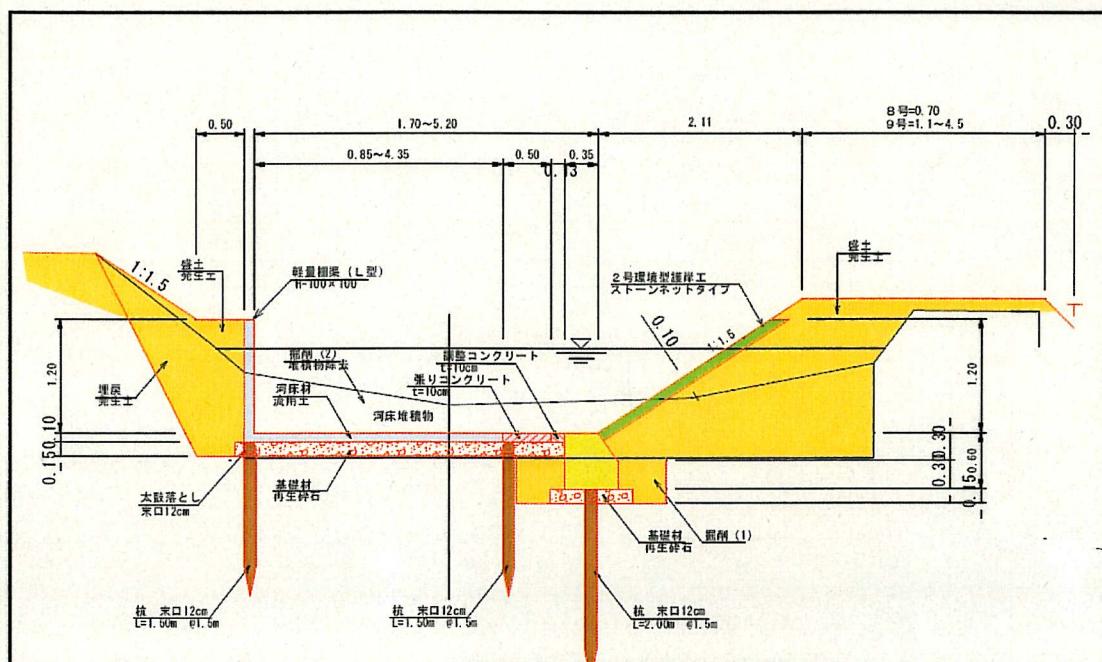
②最小化

<カワバタモロコ等の生息に配慮し環境型ブロック護岸・L型柵渠を施工。>

④軽減/消失

<畦畔及び管理道の盛土材に希少植物の生育土壤を利用し従来の植物が再生できるようにした。>

(標準断面図)



(写真)

現在施工中のため、完成写真はない。

(参考:他地区)

